岐阜県がん診療連携拠点病院等支援協議会（議事概要）

1　日　時：令和８年 10 月 13 日(火)　13:30～15:00

2　場　所：岐阜県庁議会棟２階　第２会議室

3　出席者

団体名	役　職	委員名	備考
岐阜県医療審議会	会長	堀内　清華	
岐阜県立看護大学	学長	松下　光子	
岐阜薬科大学	学長	原　英彰	
岐阜県医師会	会長	伊在井　みどり	山本　昌督（代理出席・オンライン）
岐阜県病院協会	会長	松波　英寿	
岐阜県看護協会	会長	篠田　耕造	
岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	西垣　功朗	
きよまるカフェ	代表	岡本　記代子	
れんげそう岐阜	代表	橋渡　智美	

4　議事概要

議事１　がん診療連携拠点病院、都道府県小児がん拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院の概要

事務局からがん診療連携拠点病院、都道府県小児がん拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院（以下、各拠点病院という。）の概要について説明。

議事２　各拠点病院の申請状況並びに指定更新及び新規指定にかかる事務局案

事務局から各拠点病院の申請状況並びに指定更新及び新規指定にかかる事務局案について説明し、厚生労働省への推薦の可否について審議。

○がん診療連携拠点病院（申請区分：指定更新）
岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、
松波総合病院、大垣市民病院、中部国際医療センター、中濃厚生病院、
岐阜県立多治見病院、高山赤十字病院

○都道府県小児がん拠点病院（申請区分：新規指定）
岐阜大学医学部附属病院

○がんゲノム医療拠点病院（申請区分：新規指定）
岐阜大学医学部附属病院

検討結果：　上記病院を厚生労働省に推薦することを出席者全員の賛同のもと決定。

議事３　その他　各拠点病院の機能に期待すること等意見

・がん医療提供体制を維持するために一定の集約化が必要。限りあるリソースの中でどう医療提供体制を構築していくかが重要である。

・岐阜県は地域により人口密度の差が大きく、各拠点病院の集約化によりアクセス面の不平等が生じるため、留意が必要である。

・拠点病院と地域の病院の連携体制の構築により、患者は安心してがん治療を受けることができる。

・小児がん、ゲノム分野について、都道府県拠点病院が新設されることで、都道府県内で地域連携が進むことが想定される。一方で、非常に高度な医療については、都道府県間の連携体制の構築も重要である。